

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 17 年 8 月 11 日 (2005.8.11)

【公開番号】特開 2003-292550 (P2003-292550A)

【公開日】平成 15 年 10 月 15 日 (2003.10.15)

【出願番号】特願 2002-95157 (P2002-95157)

【国際特許分類第 7 版】

C 0 8 F 290/06

C 0 8 F 299/06

C 0 9 C 1/00

C 0 9 C 1/28

C 0 9 C 3/12

C 0 9 D 5/00

C 0 9 D 163/02

C 0 9 D 163/10

C 0 9 D 175/16

// C 0 8 G 18/67

【 F I 】

C 0 8 F 290/06

C 0 8 F 299/06

C 0 9 C 1/00

C 0 9 C 1/28

C 0 9 C 3/12

C 0 9 D 5/00

Z

C 0 9 D 163/02

C 0 9 D 163/10

C 0 9 D 175/16

C 0 8 G 18/67

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 1 月 18 日 (2005.1.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

エポキシジ(メタ)アクリレート(a 1)およびジイソシアネート化合物(a 2)を反応させて得られる化合物(A)と、無機微粒子(b 1)および有機シラン化合物の加水分解生成物(b 2)を縮合反応して得られる有機被覆無機微粒子(B)とを含んで成る活性エネルギー線硬化性組成物。

【請求項 2】

エポキシジ(メタ)アクリレート(a 1)に含有される不純物のうち、分子内に 3 個以上の水酸基を含有する化合物の含有量が 5 質量%未満である請求項 1 記載の活性エネルギー線硬化性組成物。

【請求項 3】

エポキシジ(メタ)アクリレート(a 1)が、ビスフェノール型エポキシジ(メタ)アクリレートである請求項 1 または 2 記載の活性エネルギー線硬化性組成物。

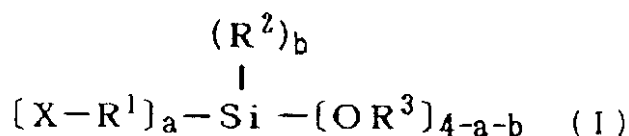
【請求項 4】

ジイソシアネート化合物 (a 2) が、環状骨格含有ジイソシアネート化合物である請求項 1 ~ 3 の何れか一項記載の活性エネルギー線硬化性組成物。

【請求項 5】

有機シラン化合物の加水分解生成物 (b 2) が、下記一般式 (I) で表される単量体の加水分解生成物である請求項 1 ~ 4 の何れか一項記載の活性エネルギー線硬化性組成物。

【化 1】



[式 (I) 中、X はメタクリロイルオキシ基、アクリロイルオキシ基、スチリル基またはビニル基を、 R^1 は直接結合もしくは炭素数 1 ~ 8 の直鎖型または分岐型アルキレン基を、 R^2 、 R^3 は炭素数 1 ~ 8 の直鎖型または分岐型アルキル基を、a は 1 ~ 3 の整数を、b は 0 ~ 2 の整数を示し、 $a + b$ は 1 ~ 3 である。]

【請求項 6】

分子内に少なくとも 3 個の (メタ) アクリロイル基を含有する、化合物 (A) 以外の化合物 (C) を更に含有する請求項 1 ~ 5 の何れか一項記載の活性エネルギー線硬化性組成物。

【請求項 7】

請求項 1 記載の活性エネルギー線硬化性組成物を硬化させて得た硬化被膜を有する物品。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0031

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0031】

[式 (I) 中、X はメタクリロイルオキシ基、アクリロイルオキシ基、スチリル基またはビニル基を、 R^1 は直接結合もしくは炭素数 1 ~ 8 の直鎖型または分岐型アルキレン基を、 R^2 、 R^3 は炭素数 1 ~ 8 の直鎖型または分岐型アルキル基を、a は 1 ~ 3 の整数を、b は 0 ~ 2 の整数を示し、 $a + b$ は 1 ~ 3 である。] で表される単量体の加水分解生成物である。